

第2次菊川市総合計画策定に伴う「将来像」の検討

第2次菊川市総合計画を策定するにあたり、これからのまちづくりを考えていく上での基礎となる「SWOT分析」を行い、まちづくりの課題や方向性をまとめさせていただきました。今回は、総合計画の基本構想の部分になる「将来像」について検討していきます。

1. 目標とする将来像

将来像は、総合計画の推進により実現を目指すまちの姿を明らかにするために設定します。総合計画に掲げるまちづくりの目標としてふさわしく、市民にとって、目指しているまちの姿をイメージしやすく、将来に向けた希望とまちづくりに向けたメッセージ性を有したものになります。

1) 第1次菊川市総合計画に掲げる将来像

平成19年度から平成28年度の10年間の計画期間とする「第1次菊川市総合計画」に掲げる将来像「みどり次世代～人と緑・産業が未来を育むまち～」については、合併時の「小笠町・菊川町新市将来構想」で掲げた将来像を継承しています。

みどり 次世代 ～人と緑・産業が未来を育むまち～

菊川市は、豊かな自然に恵まれています。鮮やかな緑に包まれたこの地域で、豊かな感性に恵まれた人づくりと、緑を大切にされた地域環境づくりに取り組み、温かな心をもつ市民が平和な暮らしを続け、いきいきとした笑顔と活力が生まれる都市を次の世代に継承することを目指します。

合併時の「小笠町・菊川町新市将来構想」また、平成19年度からの「第1次菊川市総合計画」で掲げるとおり、この将来像を目標にまちづくりを進めてまいりました。

今回、「第2次菊川市総合計画」を策定するにあたり、平成29年度から平成37年度までの9年間の目標とする将来像を掲げ、まちづくりを進めていく考えでいます。

2) 第2次菊川市総合計画に掲げる将来像のキーワード

第2次菊川市総合計画策定に伴う「意識調査（市民・団体・自治会・中学生・高校生・大学生）」により「菊川市にふさわしいキャッチフレーズ」を自由記述していただいたものや、事務局から挙げられたキーワードを3つにまとめてあります。

また、県内各市や2層構成参考自治体のまちづくりの「理念」と「将来像」をまとめた[参考資料](#)を参照してください。

3) 第2次菊川市総合計画に掲げる将来像（案）と意味

将来像については、2)で挙げられた意識調査等によるキーワードを基に、人口減少問題や今後のまちづくりの課題などを考慮し、市が目指すまちの姿をイメージしやすく、将来に向けた希望とまちづくりに向けたメッセージ性を持った「第2次菊川市総合計画」で掲げる「将来像（案）」を次のとおり挙げさせていただきましたので、案を基に協議願います。

第2次菊川市総合計画で掲げる「将来像」(案)

【案1】 彩り ときめき 菊川

「彩り」は、シニア、女性、NPO、コミ協、外国人など、色々な人が輝くこと、農・商・工、様々な産業が活性化することをイメージしています。

「ときめき」は、これからの市の発展性、子どもたちの将来への希望、恋愛、結婚、人口増などをイメージしています。

【案2】 未来へつなげ 輝く笑顔・みどり 咲き誇る 居住都市

～light up your life きくがわ～

「未来へつなげ」は、よき風土、環境、地域・地元愛、魅力など、みんなが生まれ育った菊川を未来へつなげることを意味しています。

「輝く笑顔」は、幸せな生活や幸せなまちをつくる上で必要な笑顔を絶やさない明るい幸せな生活環境をつくることをイメージしています。

「みどり」は、自然・お茶・農産業・芽吹き(誕生)・若さ・活力・郷土・安全安心などをイメージした言葉で、合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになります。

「咲き誇る」は、輝く笑顔やみどりを芽吹かせ開花させ、今以上に市内在住の皆さまはもとより、市外の方にも認めていただくことをイメージしています。

「居住都市」は、輝く笑顔やみどりはもとより、子育て、教育、就職、家庭、生活など「住んでよかった・住み続けた・住みやすい」と思われる住環境が整ったまちを目指すことを意味します。

【案3】 ずっとあんしん もっとくらしやすい まち

「ずっとあんしん」は、子どもから高齢者まで、子育て、教育、就職、家庭、生活など、生涯の生活等を安心して過ごすことを表しています。

「もっとくらしやすい」は、安心して暮らせる環境を、今まで以上に暮らしやすくすることを目指すことを意味します。

【案4】 緑豊かに、人と活力を育み、住み続けられる 菊川市

「緑豊かに」は、緑で連想される自然・お茶・農産業・芽吹き(誕生)・若さ・活力・郷土・安全安心などが満ちあふれていることをイメージした言葉で、「緑」は合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになります。

「人と活力を育み」は、生涯の教育やコミュニティ、農・商・工などの経済的なものなど市を支える活動の基になる力を育てる意味を持ちます。

「住み続けられる」は、緑豊かにや人と活力を育みを今以上に市内在住の皆さまはもとより、市外の方にも認めていただき、住んでよかった・住み続けた・住みやすい住環境が整ったまちを目指すことを意味します。

【案5】 みどりの都市 きくがわ

「みどりの都市」は、自然・お茶・芽吹き(誕生)・若さ・活力・郷土・安全安心などをイメージした言葉で、合併時の新市将来構想や第1次菊川市総合計画からも継承するものになり、豊かな自然に恵まれ鮮やかな緑に包まれたこの地域で、人づくり、産業の発展、活力があり安心して平和に暮らせる、暮らし続けるまちを目指すことを意味します。

第2次菊川市総合計画策定に伴う「将来像」のキーワード

将来像のキーワードについては、第2次菊川市総合計画策定に伴う各種意識調査や、事務局から挙げられた「将来像」のキーワードとしてまとめたものになります。

＜市民・団体・自治会・中学生・高校生意識調査＞ ※関連する単語でまとめています。

・自然	【213】	・お茶	【103】	・緑	【81】
・安心	【66】	・住みやすい	【58】	・子ども	【50】
・笑顔	【47】	・元気	【44】	・やさしい	【43】
・楽しい	【41】	・安全	【41】	・活気	【34】
・若者	【29】	・活力	【25】	・明るい	【20】
・健康	【18】	・きれい	【18】	・暮らしやすい	【18】
・子育て	【17】	・おいしい	【16】	・住みたい	【13】
・店・モール	【13】	・きくのん	【13】	・協力	【12】
・助け合う	【11】	・美しい	【11】	・あたたかい	【9】
・空気	【9】	・思いやり	【8】	・幸せ	【7】
・あいさつ	【6】	・みんなでつくる	【6】	・コンパクト	【6】
・ふれあい	【6】	・田舎	【5】	・支え合い	【4】
・近所	【3】	・病院	【2】	・交通	【2】

＜大学生意識調査＞

- ・楽しいまち
- ・誰もが快適に暮らせるまち
- ・住みやすいまち
- ・自然と暮らしが両立するまち
- ・「暮らし幸福度」に価値を置いたまち
- ・豊かな自然と活気のあるまち
- ・茶が香る菊川
- ・子育てがしやすいまち
- ・緑あふれるあたたかいまち
- ・新都市 菊川
- ・ご近所さんの笑顔を知っているまち
- ・輝く 笑顔 咲き誇るまち light up your life 菊川
- ・子どもも、若者も、お年寄りも暮らしやすいまち
- ・子どもから老人まで誰もが住みやすいまち
- ・きれいで暮らしやすく活気あふれるわたしのまち菊川市
- ・みんなで支えるまち
- ・人と人が繋がるまち
- ・住民・企業に選ばれ続けるまち
- ・あたたかいまち
- ・落ち着いた環境で過ごせるまち
- ・緑のチカラ 明るい人とまちなみ
- ・緑のあるまち
- ・皆でつくる 皆のためのまちづくり
- ・豊かでにぎやかなまち
- ・豊かな自然と発展的な社会の両立
- ・住みやすいと誰もが思い共有できるまち

＜事務局＞

- ・そらとみどりと子育てのまち
- ・くらしが四季につつまれるまち
- ・みんなが笑顔 幸せなまち
- ・のどかでほのぼのしたまち
- ・アレ?いいじゃん 菊川市
- ・未来へチャレンジ 魅力あるまち きくがわ
- ・続くみどり、笑顔、発展する活力 わがまち きくがわ
- ・未来へチャレンジ 魅力あるまち きくがわ
- ・続くみどり、笑顔、発展する活力 わがまち きくがわ
- ・バランスのとれた住みこちの良い田舎都市
- ・ひと・まちが活き 暮らしが輝くまち
- ・みんなが集い、緑きらめくライフタウン きくがわ
- ・クリーン・グリーンシティ 菊川
- ・「もっと便利なまちがあるのは知っているけど 緑ゆたかでそこそこ便利なこのまちに愛着があるんです。」菊川市
- ・「おかえり」がいきかうまち
- ・安心安全なまち
- ・田舎と都会の中間都市
- ・みんなが誇れるふるさと きくがわ
- ・未来を創る物語